

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	農林課(林務・自然保護担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	森林環境整備事業	事業番号	11557

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-7	林業の振興
	施策目標	森林を守り育て森林資源を活用するまち	

2 事務事業の目的

目的	森林の持つ多面的機能を総合的かつ高度に発揮するための下刈工事等を行い、森林整備を図る。
成果	水源涵養、土砂災害の防止、地球温暖化の防止、生物多様性の保全などの機能を将来にわたって持続的に発揮させるための適切な森林の整備と保全に取り組む。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
	27	森林の持つ多面的機能の発揮のための総合的な森林整備(植栽・下刈り・間伐など)						
	28	森林の持つ多面的機能の発揮のための総合的な森林整備(植栽・下刈り・間伐など)						
	29	森林の持つ多面的機能の発揮のための総合的な森林整備(植栽・下刈り・間伐など)						
	30	森林の持つ多面的機能の発揮のための総合的な森林整備(植栽・下刈り・間伐など)						
	31	森林の持つ多面的機能の発揮のための総合的な森林整備(植栽・下刈り・間伐など)						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		11,806	17,774	14,255	14,096	10,228	68,159
	内訳	国庫支出金						
		道支出金	6,225	9,654	9,654	9,654	6,225	41,412
		地方債						
		その他	5,581	8,120	4,601	4,442	4,003	26,747
	一般財源							
	人員(人工)		0.50	0.50	0.50	0.50	0.50	
職員費(人員×8,081千円)		4,041	4,041	4,041	4,041	4,041	20,205	
総事業費		15,847	21,815	18,296	18,137	14,269	88,364	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	森林施業(植栽、下刈など)実施回数	8回	10回	10回

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	
-------------------	--

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 森林は多様な機能を有し、公益的な役割を担っていることから、市民ニーズは高いと考える。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 市有林を対象とした事業であるため。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 自然環境の変化による風倒木処理も含め、緊急な対応が求められている。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 「根室市森林整備計画」などにに基づき実施しているため、妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 「根室市森林整備計画」などにに基づき実施しているため概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 総合的な森林の整備を図ることにより、健全な森林づくりができることから本事業は有効である。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 森林整備計画に基づき着実に事業推進を図るとともに、市民ボランティア団体との協働による環境共生型の森林づくりについて推進されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 森林整備計画に基づき適切な施業を実施するとともに、市民協働による森林づくりについて検討する。

作成年度 平成27年度

事務事業評価(事前評価)シート

主管課(担当名)	農林課(林務・自然保護担当)	事業区分	<input checked="" type="checkbox"/> 実施計画 <input type="checkbox"/> 重点プロジェクト
事務事業名	市民の森整備事業	事業番号	11942

1 施策体系

施策体系との関連	施策区分	5-7	林業の振興
	施策目標	森林を守り育て森林資源を活用するまち	

2 事務事業の目的

目的	自然を大切にすることを育み、緑化思想の高揚を図るため、市民の森を整備し、多くの市民が森林に親しめる環境づくりを推進する。
成果	①多くの市民が森林親しむ機会が増大し、健康づくりの面での森林利用が促進される。 ②緑化思想の高揚、森林が有する多面的機能を利用した森林環境教育・健康づくりを推進する。
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直営(市が直接実施) <input type="checkbox"/> 補助(民間等に補助) <input type="checkbox"/> 委託(民間等に委託) <input type="checkbox"/> その他
事務区分	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務 <input type="checkbox"/> 法定受託事務

3 事務事業の概要

事務事業の概要	年度	概要						
		27	①市民の森の整備(遊歩道・植樹帯の整備) ②植樹祭の開催(約200本植樹)					
	28	①市民の森の整備(遊歩道・植樹帯の整備) ②植樹祭の開催(約200本植樹)						
	29	①市民の森の整備(遊歩道・植樹帯の整備) ②植樹祭の開催(約200本植樹)						
	30	①市民の森の整備(遊歩道・植樹帯の整備) ②植樹祭の開催(約200本植樹)						
	31	①市民の森の整備(遊歩道・植樹帯の整備) ②植樹祭の開催(約200本植樹)						
事業費と内訳	(単位:千円)		H27	H28	H29	H30	H31	総事業費
	事業費		3,799	3,526	3,691	4,393	4,359	19,768
	内訳	国庫支出金						
		道支出金						
		地方債						
		その他	770	1,000	1,000	1,000	1,000	4,770
	一般財源		3,029	2,526	2,691	3,393	3,359	14,998
	人員(人工)		0.17	0.17	0.17	0.17	0.17	
	職員費(人員×8,081千円)		1,374	1,374	1,374	1,374	1,374	6,870
総事業費		5,173	4,900	5,065	5,767	5,733	26,638	
維持管理	管理主体							
	運営方法							
	維持管理費	施設維持費						
		概算人件費						
合計/年								

4 事務事業の現状と課題

活動指標	指標名	計画値 (H27)	目標値 (H32)	目標値 (H37)
	植樹祭年間参加者数	200人	200人	200人
	市民の森への年間植樹本数	250本	250本	250本

事務事業改善策
(継続事業のみ記入)

植樹祭において、苗木の活着率を向上させるため、地拵え・幹ガードなどの対策を講じる。

5 事務事業の効果について

取組みに当たって期待される効果など	市民の憩いの場として、また、緑化思想の高揚など森林ならではの特徴が発揮される。
-------------------	---

6 評価の視点

ア. 市民ニーズ	<input type="checkbox"/> かなりのニーズがある <input checked="" type="checkbox"/> ニーズはある <input type="checkbox"/> ニーズはあまりない 近年、木育の観点から森林に関する注目度が増しており、その効果・役割の重要性が再認識されている。
イ. 市が実施する必要性	<input checked="" type="checkbox"/> 市が実施すべきである <input type="checkbox"/> 市の実施について検討の余地あり <input type="checkbox"/> 市以外で実施可能である 施設面積が大きいことから、市が主体で森林を適切に維持・管理していくことが必要である。
ウ. 事業の緊急性	<input type="checkbox"/> 緊急性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 緊急性はある <input type="checkbox"/> 緊急性はない 森林の持つ多面的機能を総合的に発揮するうえで、適切な整備が必要。
エ. 手段の適切性	<input type="checkbox"/> 適切である <input checked="" type="checkbox"/> 現状として妥当である <input type="checkbox"/> 検討の可能性はある 「根室市森林整備計画」等に基づく整備であることから妥当である。
オ. 事業の公平性	<input type="checkbox"/> 公平性は高い <input checked="" type="checkbox"/> 概ね公平である <input type="checkbox"/> 改善の余地はある 根室市市民の森条例及び施行規則等による管理・利用を実施しているため概ね公平である。
カ. 事業の有効性	<input type="checkbox"/> 本事業の有効性が高い <input checked="" type="checkbox"/> 本事業の有効性がある <input type="checkbox"/> 既存事業と大きな差はない 森林の持つ多面的機能に対する理解、緑化意識の高揚を図るうえから有効性はある。

7 今後の事業の進め方

ア. 総合政策部で付された意見	【計画どおり実施】 市民の森について、利用促進も検討するとともに、市民ボランティア団体との協働による環境共生型の森林づくりについて推進されたい。
イ. アを踏まえ、担当部局の方針	<input checked="" type="checkbox"/> 計画どおり着手が適当 <input type="checkbox"/> 再検討し実施する <input type="checkbox"/> 着手を延期する 市民の森の利用促進及び市民協働での森林づくりについて検討する。 また、活着状況など現状把握の具体化を図る。

作成年度 平成27年度